

## 8 事業スケジュールと今後の課題の整理

### 8.1 事業スケジュール

想定する事業スケジュールは以下の通りです。

令和8年度から発注準備を開始し、令和10年度から設計、建設・外構工事を実施し、令和13年度中の供用開始を目指します。

〈事業スケジュール〉

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
事業 スケジュール	基本 構想	基本 計画	発注準備	事業者 応募・選定・ 契約	設計	建設・外構工事		
		民間活力 導入可能性 調査						開業 準備
								★ 開業 目標

### 8.2 今後の課題の整理

#### (1) 庁内関係課との連携

本事業では設計、建設、運営まで包括的に一式で委託を行う DBO 方式（官民連携事業手法）を想定しています。このため、設計、建設に係る技術や運営に係る庁内各所管部署と連携し、今後発生する課題に対応していく必要があります。

#### (2) 要求水準の検討

次年度以降の発注準備においては、技術、運営、法制度といった知見を活かしながら要求水準の作成を行う必要があります。要求水準は入札参加者に対して本市の意図を示すための最も重要な基準となるもので、施設やサービスの質や効率性に大きな影響を及ぼします。また、本市が発注者として事業の最終的な責任を負いながらも、民間事業者が創意工夫を発揮するという趣旨の達成も要求水準によるところが多くなります。さらに、設計から運営までの一貫した責任が官民双方に求められるため、役割分担やリスク分担を明確にしておく必要があります。

#### (3) 財源の確保

多額の費用を必要とする整備では、設計、建設年度に一般財源負担が突出する場合があります。このため設計、建設費の財源についてはできるだけ補助金や交付金、起債等を活用し単年度における一般財源の支出を抑えることに努めます。また、施設竣工後の維持管理運営コストの削減を目指して維持管理コストを最適化した機能的な施設設計や民間活力のノウハウを活かした効率的な運営を図ります。

#### (4) 情報提供

官民連携事業手法においては、民間への情報提供や競争的対話といった官民コミュニケーションが欠かせません。そのため、早い段階から可能な範囲で事業に係る情報公開を進め、確実に事業を推進できるよう努めていく必要があります。

#### (5) 建設市場のモニタリング

近年の建設市場では国際問題や国内の大型事業の発注、人件費の上昇などから建設費の高騰が進んでおり、公共工事では予算との乖離から不調が散見されます。また職人、技術者不足や4週8休制度の導入などから工事の遅延も発生しています。こうした建設市場の状況を継続して把握し、発注に向けたリスク対策を視野に入れておく必要があります。